

今回の特集は「高速化・速達化」です。高速化というと、とにかくスピードを出すことのみを考えがちですが、速く走るためには、速く走っても安全に止まれること、騒音を出さないこと、カーブを安全で快適に曲がれること、なども忘れてはなりません。また、列車の運転速度を向上するだけでなく、乗り継ぎを考えた運行ダイヤの工夫によっても、お客様のドアツードアの所要時間が短縮されます。

ところで、今月、北陸新幹線が金沢まで開業し、東京～金沢

間は、最速達列車で約2時間半で結ばれることになります。短い移動時間でしかも乗り心地の良い快適な車両で旅行できるので、観光はもちろん出張も楽しくなりそうです。

さて、次号の特集は「鉄道の国際規格」です。鉄道総研の鉄道国際規格センターが2010年4月に発足してから5周年を迎えます。これまでの国際標準化活動の経緯を振り返りながら、最新情報と今後の展望をご紹介します。どうぞご期待ください。(A. S.)